

基本CG 12枚  
本編CG 125枚

魔装に魅入られた少女は  
深い闇へと堕ちてゆくー

# 魔装のイザナイ

~Dark Suit Inbent~ Cace.01

まそう  
—魔装—

人々を闇へと誘い、その心を漆黒へと染め上げる衣服  
一度着てしまった者はその意思に永遠に囚われてしまう——

ソレは邪な心の隙間に突然現れる

これは魔装に魅了され、深淵へと堕ちていく人々の物語——









「わたしは美穂！  
どっ」でもいる普通の学生！」



「だけどわたしにはもう一つの顔があるんだ」



「それは、ブイチューバー！」

303

「リスナーのみんなと楽しく盛り上がる時間は本当に楽しいっ！」

Comment

●TATAN

●/7IL

●瞬

●Ham

●タツ

●はーと

●敗北者101

ghost

こんぼんわ!  
草草草  
かわんわい~

おっ  
こんぼんわ~

今日もかわんわい!!

がんばれ

こんさく~

かわ  
草

AWALL

「まだ始めたて、わかんない事がたくさんあるけど」





「私はまだまだ…」

「同時期にデビューしていった昔はすごい勢いで3D化とか新コスチュームでパワーアップしているの…」

「……だけど本当は最近チャンネルが伸び悩んでいてちょっと病み中…」







「あたしはほんまにかわいかならぬやない」

「トラッキングスーツ」



「トラッキングスーツは結構な重さだ」



「トラッキングスーツですよわね？」  
「ええ……トラッキングスーツだ……」「わー！」



「ズズズ、そんなぞいな」

「おはよう♥ネー♥」  
「アナタによく似合ってるわ」  
「そのスーツ…」



「中々いい普通のジャケット…」

「ポイントですよー」  
「ジャケット ¥1000」



「さっしゅ」  
「ご購入ありがとうございます♡」



「これで私も大人気ライチューバーだっ！」

「(なんだがよくわからないけど、ラッキー)」

「じゃあネットショップの値段で良いなら……」のスイーツ、トキ……」



「可愛いね」

「♡ 可愛いね」





「早速着てみたけど…」

「おお…なんか…ちゅっとな…キツい…かき…」

(…か…)



「おっ……おっ……恥ずかし……かも……」

「……ん……ん……見た目が……なんか独特……」



「.....」

A!

フフフ...



フフッ...

「アホ...」

フフッ...

フフッ...





フフッ♡

「なっ……なに……!?」

(急に……スーツがっ……)

フフッ♡



「なんなの「の」スーツ……!?!」

はあ

はあ

「……」

「……」



「……なんだが、怖ら……怖ら……怖ら……」



「はぁん♡はぁん♡」

「んんん♡んんん♡んんん♡」

「っっ…店長さん…店長さん…  
ダメです…ダメです…」

「はぁん♡」

「んんん♡なら♡おまんこ気持ちよくして♡」

「わたしも最高に感じるわぁ♡」



「あはあんっ♡」

「あたしのカラダもっと味わいなさるぞ♡」

「店長さん……っ—店長さん……っ—」

「あはあんっ♡♡♡♡♡」



「素敵よお♡素敵じゃないこの勃起チンポお♡」

（ああんっ♡あたしのカラダあ♡やっぱり変わってしまったのねえ♡）



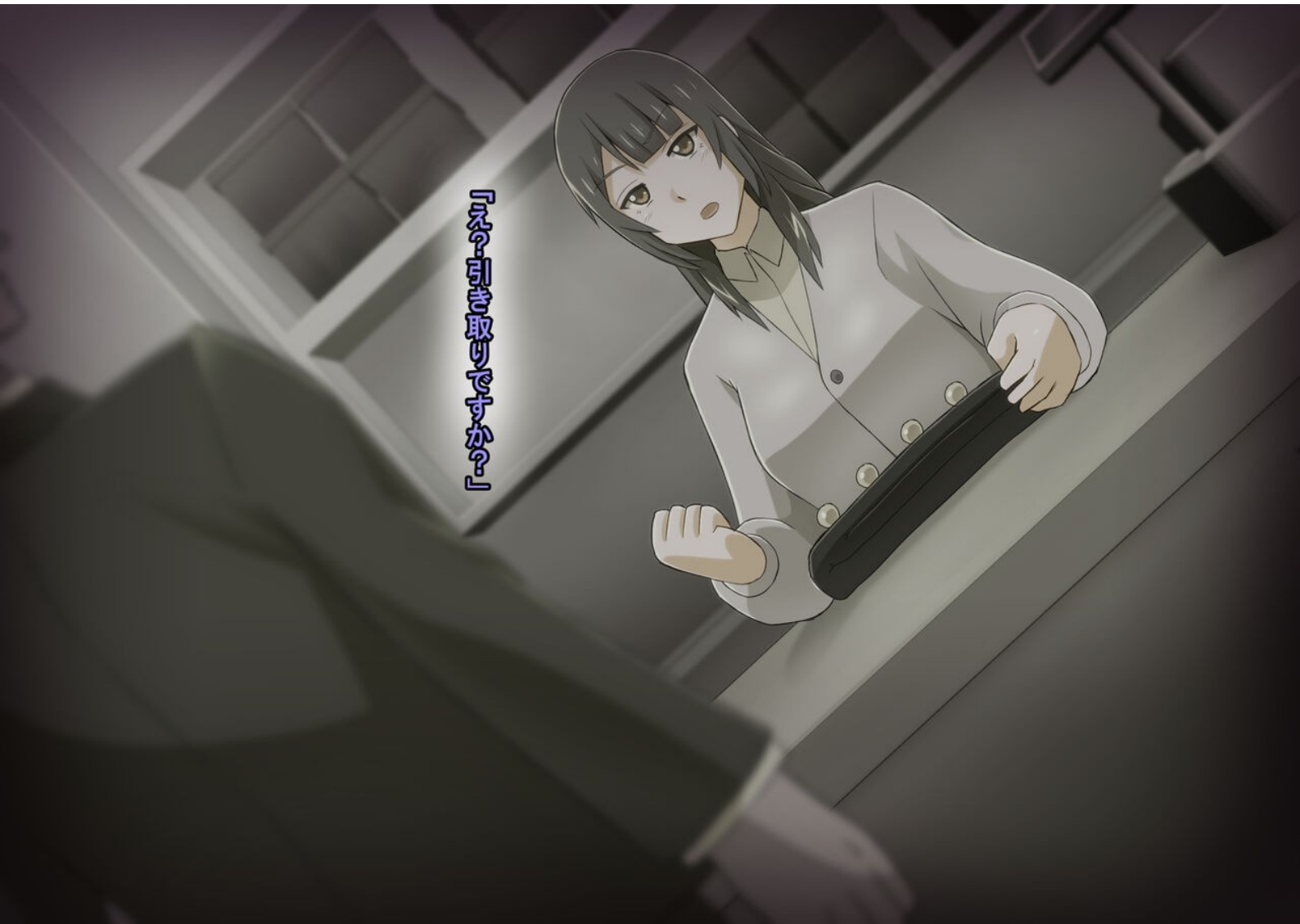
あー♡  
あのスーツ♡

はっ♡  
はっ♡

ブル

ブル

ぞりよあのスーツ…♡  
全てはあのスーツに出会ってから♡



「えっ引き取りですかっ？」



「……アツクも……」

「……アツクも……」

「……アツクも……」



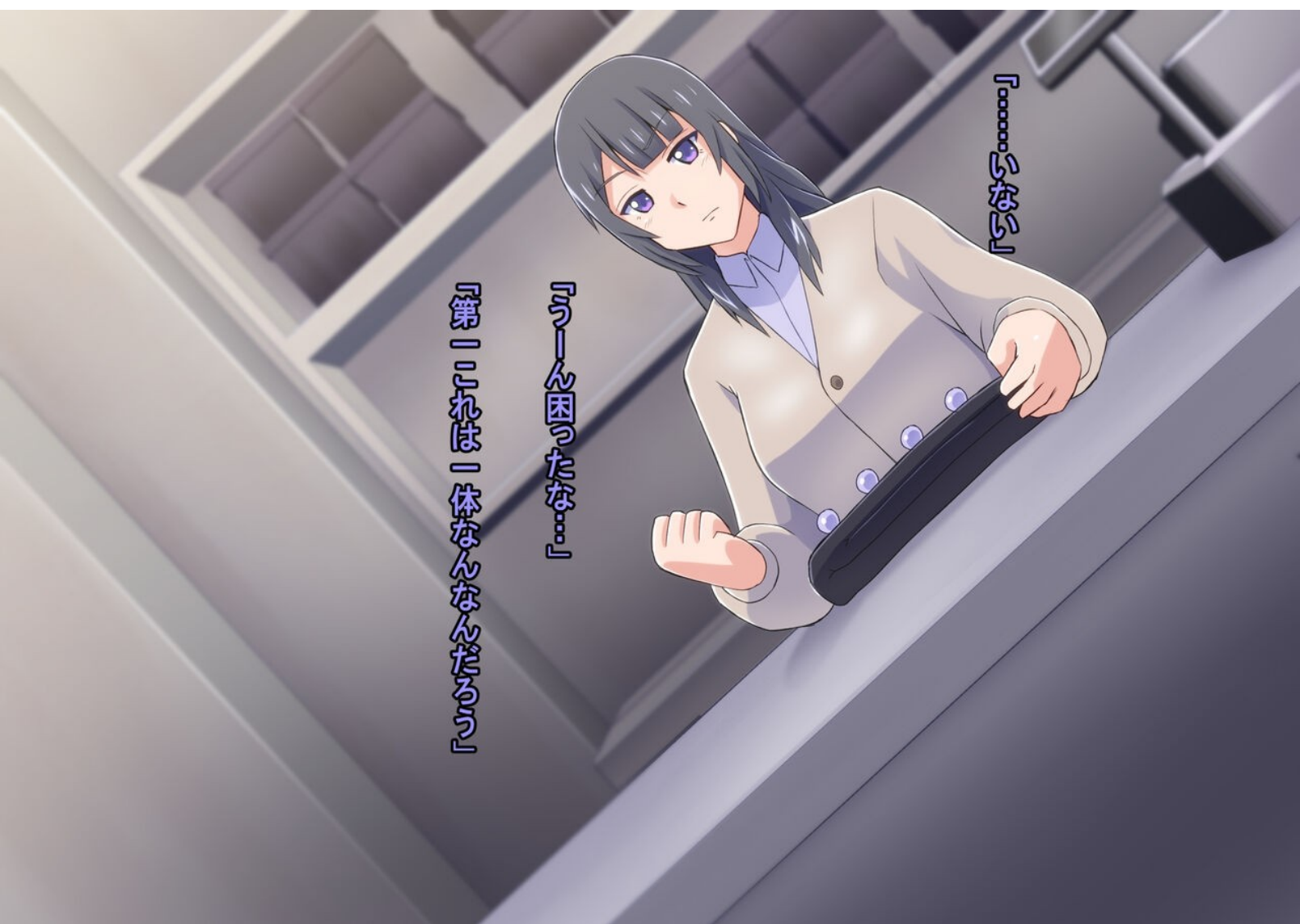
「うーん、引き取りだけって  
のほやってないんだけど」





「さくらちゃん」

「さくらちゃん」



「……らゆら」

「うーん困ったな…」

「第二これは一体なんなんだろう」



「……さっし」

「……なんだ」

「……さっし」



「おは……」

「……さ……」



「.....」

「.....」

Asa  
Eto

「♥おのほのほ♥おん」



「あのスーツに出会ってからわたし♥」

「こんなドスケベな女に変わってしまったの♡」



(♡love♡)

「♡love♡love♡」

♡love♡

♡love♡

♡love♡

♡love♡



（だっちゃんぽん♡）

「ぽんぽん♡ぽんぽん♡」

ぽんぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん



「どーっつても最高の気分よおお♥」



「ああ……♡ドスケベセックスさいごか……はあ……♡」

「はあ……はあ……♡」

尻穴



「あー...からかっか...  
四角のさるさるさるからか」

「だあ♡だあ♡」



「おすしおすし」

「んんん」



「私の私生活がどうだい♡」

「彼女もさっさと変わる…♡」





「そうねえ」

「そのスーツを着てからそんなおかしな事が  
起こったんだものね、しょうがないわよね」



「あら…おかしいわね」

「それは確かに変だわ」

「それだ…せっかく譲ってもらったのに「申し訳ないんですけど…」  
「む、返品したくて…」」



「♡♡♡あなたに逢いたかった♡♡♡」

「フンッ」

「うえ...それは...」

「まだ欲しくなったらいつでもまた来て♡♡♡」



「だめだ...ソレ...」

「うわ...いゝ悪かったわね」

「は...申し訳ありません」





「んっ」

「おかった…あのスーツ、ちゃんと返せて」



「でも…本当になんだったんだらう…あれ…」



「……………」

（…ん…）

（あの店長さんも…なんだか…様子が…）

「それなら…何事もなく来た」

迷惑をかけたお詫びに受け取ってちょうだい…

これからの貴方だけの特別な贈り物よ

「思わず受け取っちゃったけど、なんなんたる…」



「……」

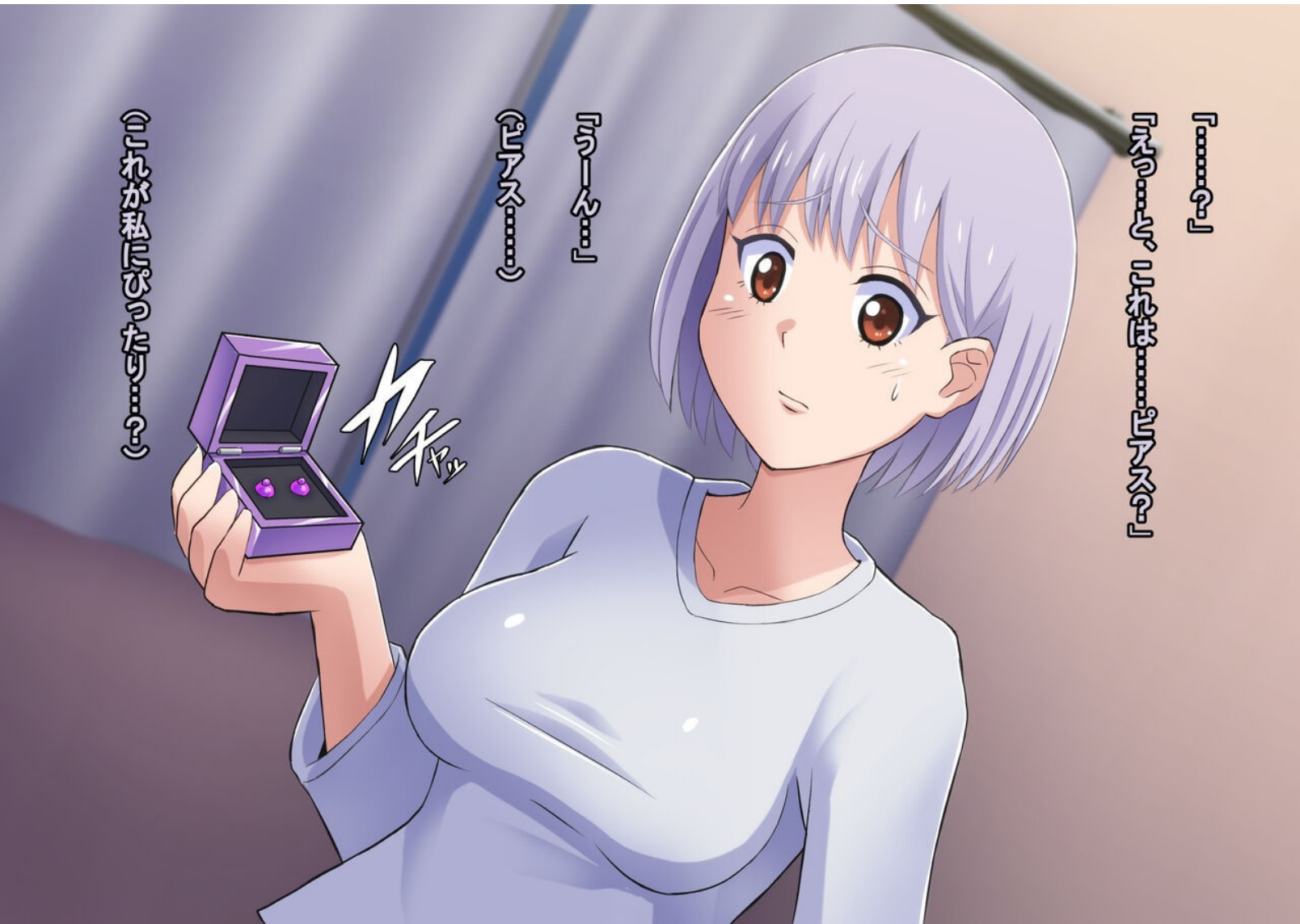
「……」

「……」

「……」

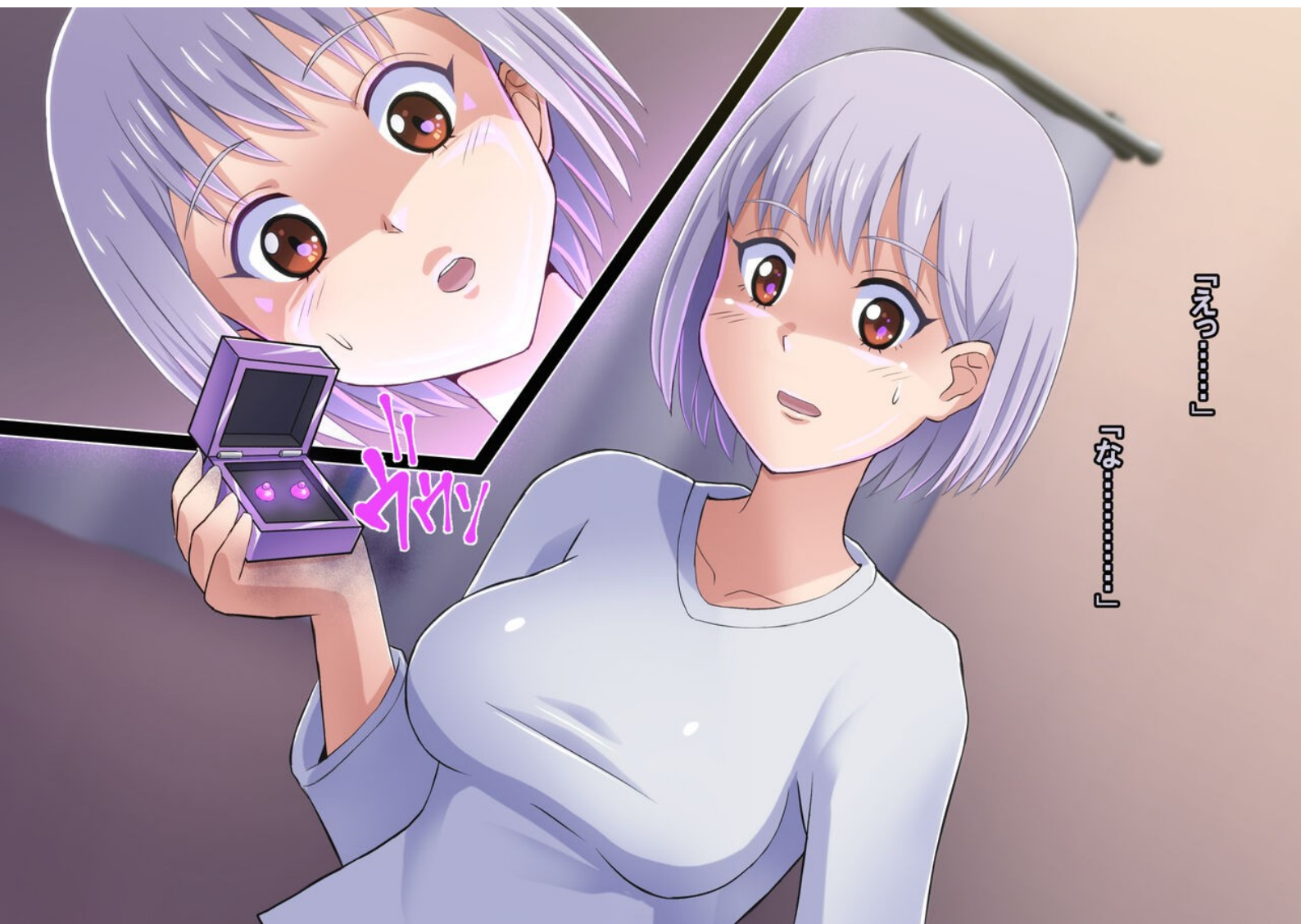
ヤ  
ヤ  
ヤ

「……」



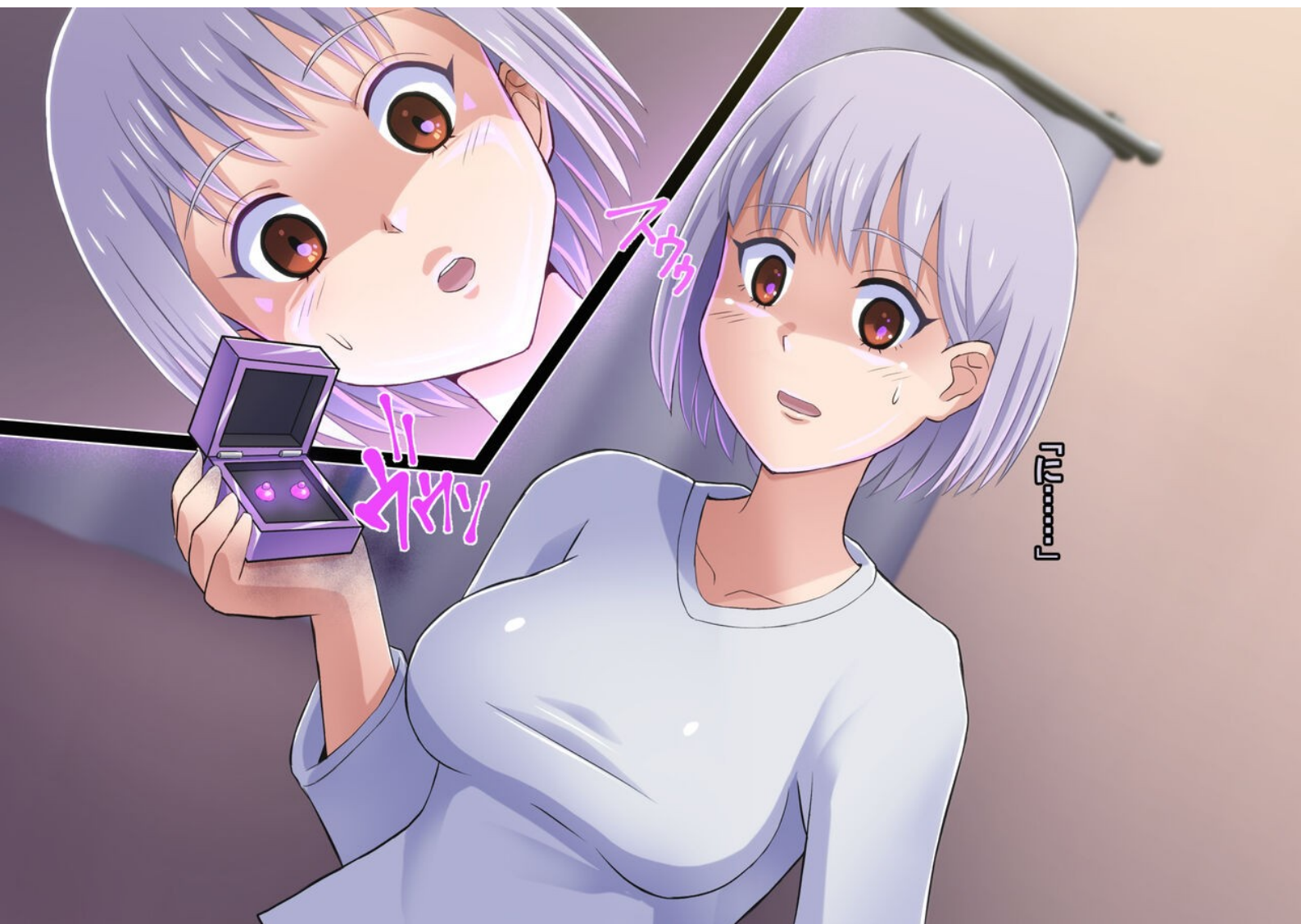
でも、私にはピアスとか、店長さんみたいな  
派手な服は似合わないかな……





「アッ……」

「……な」



「……なんだね……」

「着けてみないと……失礼だよわ……」

「それどの『アス』……よく……見たら……」





おっ

アゲ

「♡」



「……………なに……………この気持ち……………」

「おっ…♡♡」



「うん……すん……綺麗……♡」

「あの人の言った通り……  
すん……♡……似合ってる♡」





「だも……だも……」

「あは……あは……♡♡」

「はあ……店長さん……  
あたし……あたし……」

「ブラァ♡」

「あは……あは……♡♡  
あのスーツを返して……  
も……も……来て……  
ませー」

「ハァ」

「……あは……あは……♡♡」





「違わないでしょう♡」

「おん♡」

♡♡

♡♡



「♡...♡」

「あのスーツをまた  
着たくなったのよね♡」

「フッフン正直になりなさい...」

「おんなのこおんな〜」

「おんなのこおんな〜」

「おんなのこおんな〜」

「おんなのこおんな〜」

「おんなのこおんな〜」

「私のあげた「アスモ」  
よく似合ってるじゃなから♡」



「乳首もこんなに勃たせて…」

「アナタの中の淫らな気持ち  
がどんどん強まってきているわ…」

「はぁ…はぁ…♡」

「あのスーツをまた着たくて…  
こんなさうちな服で店長さん  
に会えに乗っちゃいましたぁ♡」

「フッフ」

「上出来♡」





「おめえはなにを穿くの？」

「はあ...はあ...」

「あのスーツを着るには  
まだ足りないわねえ」

「アッ」

「はあ...はあ...」

「...おめえはなにを穿くの？」



「……」

ん

「……」

ん

ん

ん

ん

ん

「……」







「♡」

「……………」



「さあもつともつと淫乱に…  
肉体も精神もドスケベに  
生まれ変わってちょうだい…」

「あのスーツに相応  
しいメスになるのよ」

「そうすればきっと…  
アナタの元へと現れ  
るはず♡」

「はぁ…  
はぁ…♡」

「はぁ  
はぁ」

「はぁ  
はぁ」

「はぁ  
はぁ」

「はぁ…  
はぁ…♡」







「……………」

「リスナーのみなさん、お久しぶりい♡」

「今日はアタシの新しい衣装っ♡」

「お披露目しちゃいます♡」

衣装♡♡



「じゃあんっ♡」

本蔵 ♡♡



「どうかなみんな♡」

「これがアタシの新衣装だよ♡」

衣装♡♡

「……………♡♡♡♡♡」

「アタシが変？ そんな事ないよ♡」

「アタシはいつも通り♡」

「……………」

「なあにみんな、気に入らないの？」

「アタシはすつこく気に入ってるんだけど…♡」



本装♡♡♡



「これが変態みたいな格好…?」

衣装♥♥

衣装♥♥

「めめ…♥」

「ぞろぞろ…♥ぞろぞろだね…♥」



「こんな…変態みたいな格好して…♥」

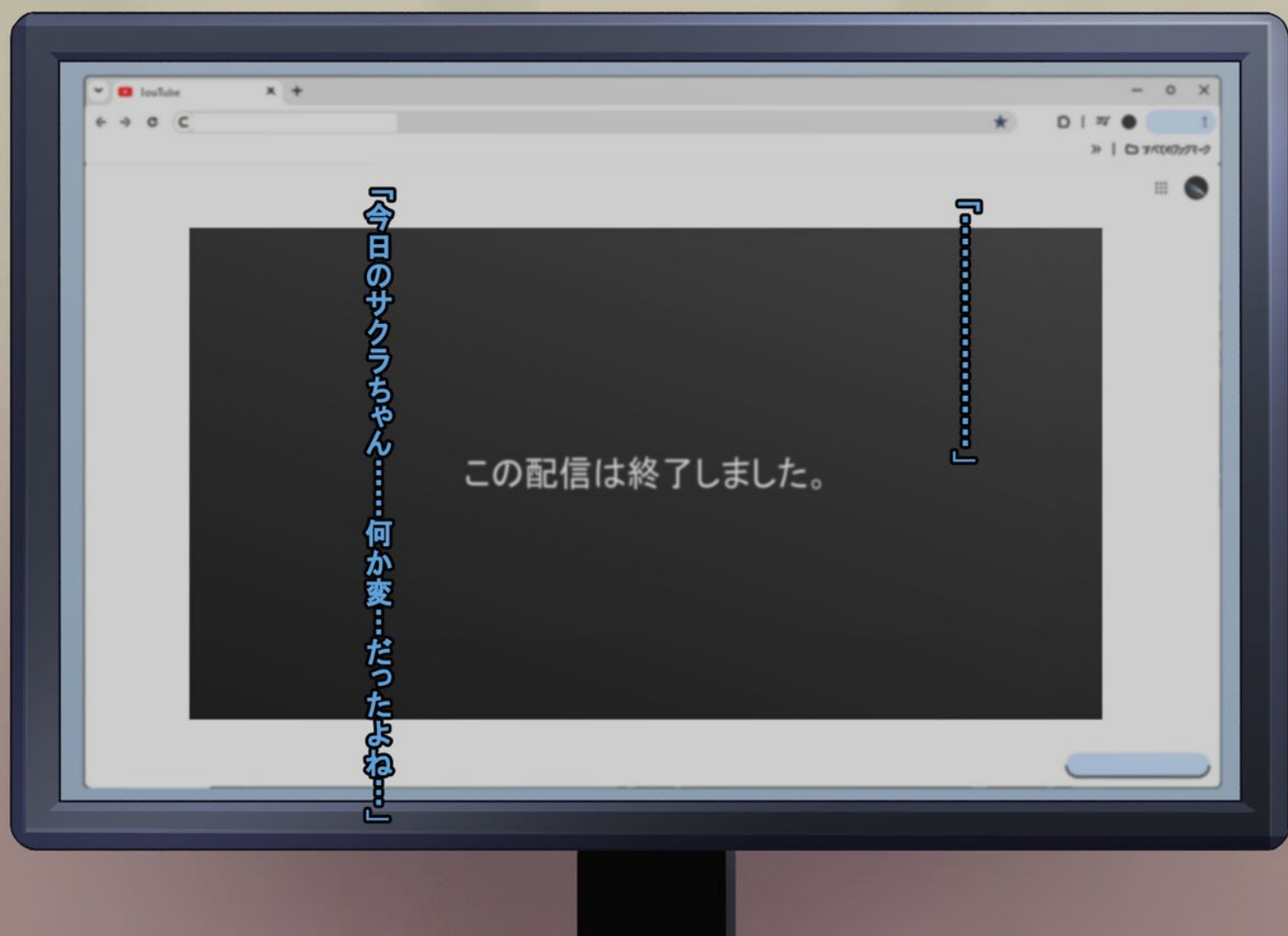
「めい…♥めい…♥めい…♥」



この配信は終了しました。

10/10

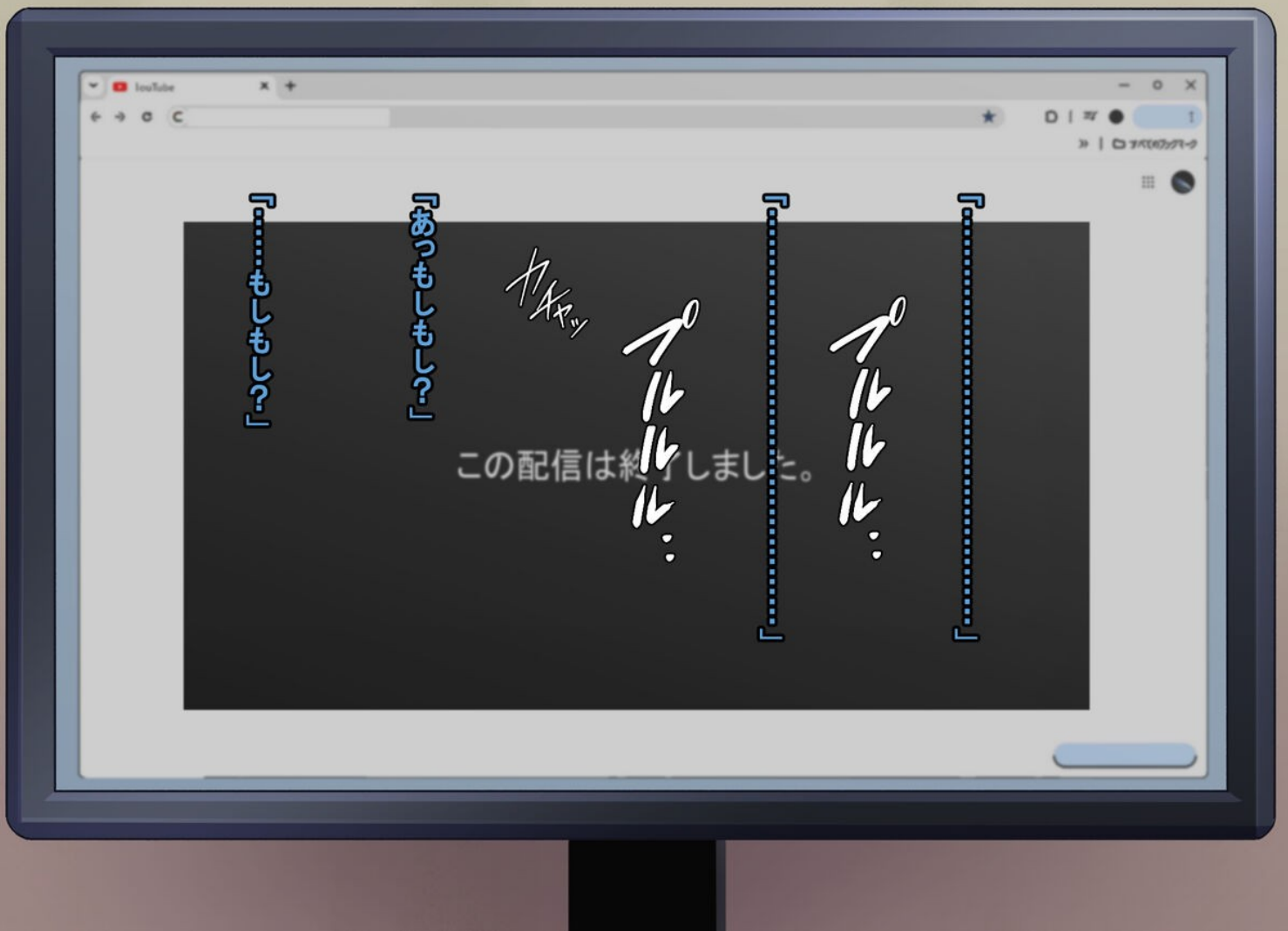
本装♥♥

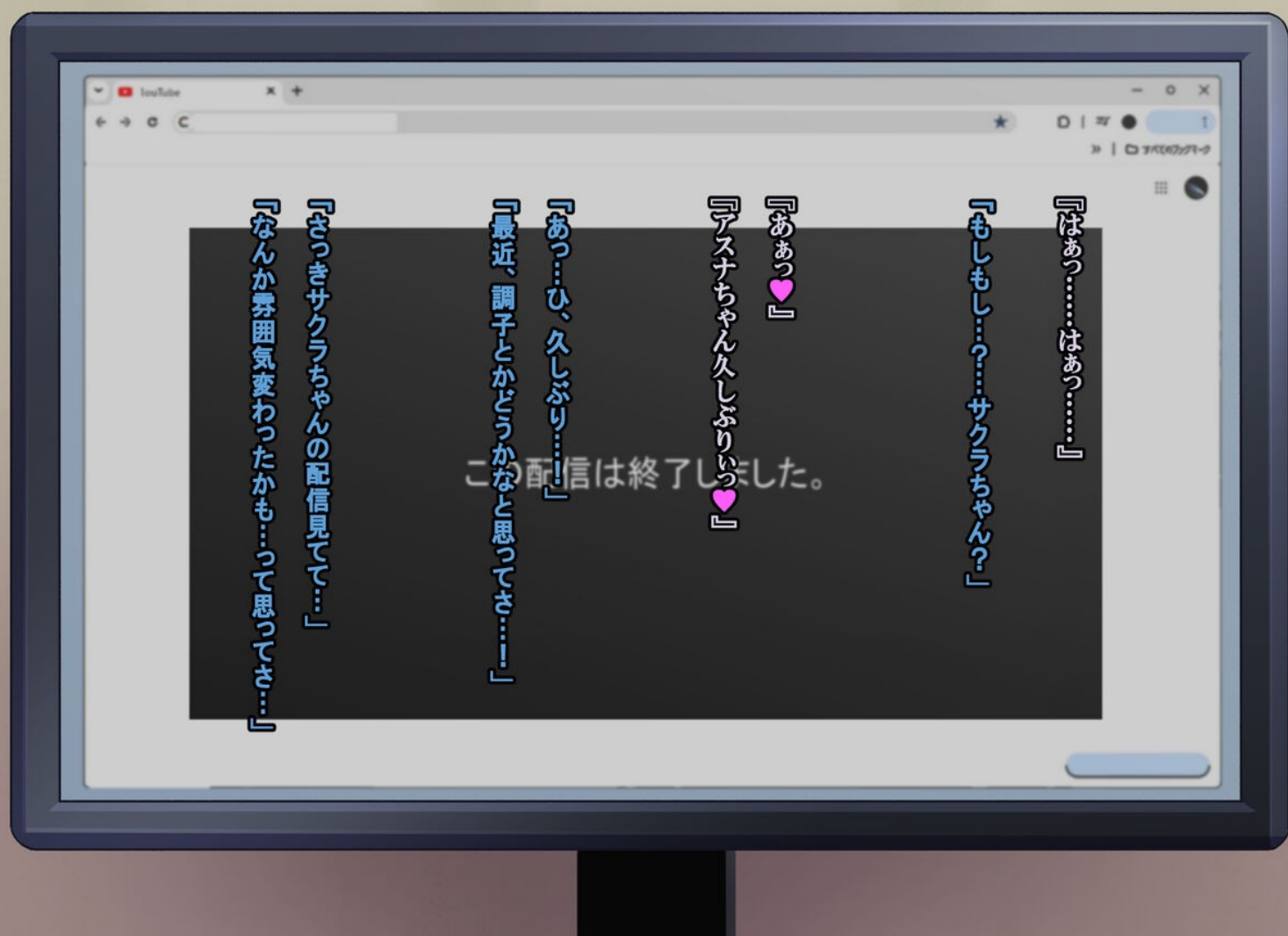


「今日のサクラちゃん……何か変……だったよね……」

「……………」

この配信は終了しました。





「はぁっ……はぁっ……」

「もしかして……？ サクラちゃん？」

「あぁっ♡」

「アスナちゃん久しぶり♡」

「あっ……ひ、久しぶり……！」

「最近、調子とかどうかかなと思ってさ……！」

「さっきサクラちゃんの配信見てて……」

「なんか雰囲気変わったかも……って思ってた……」

この配信は終了しました。



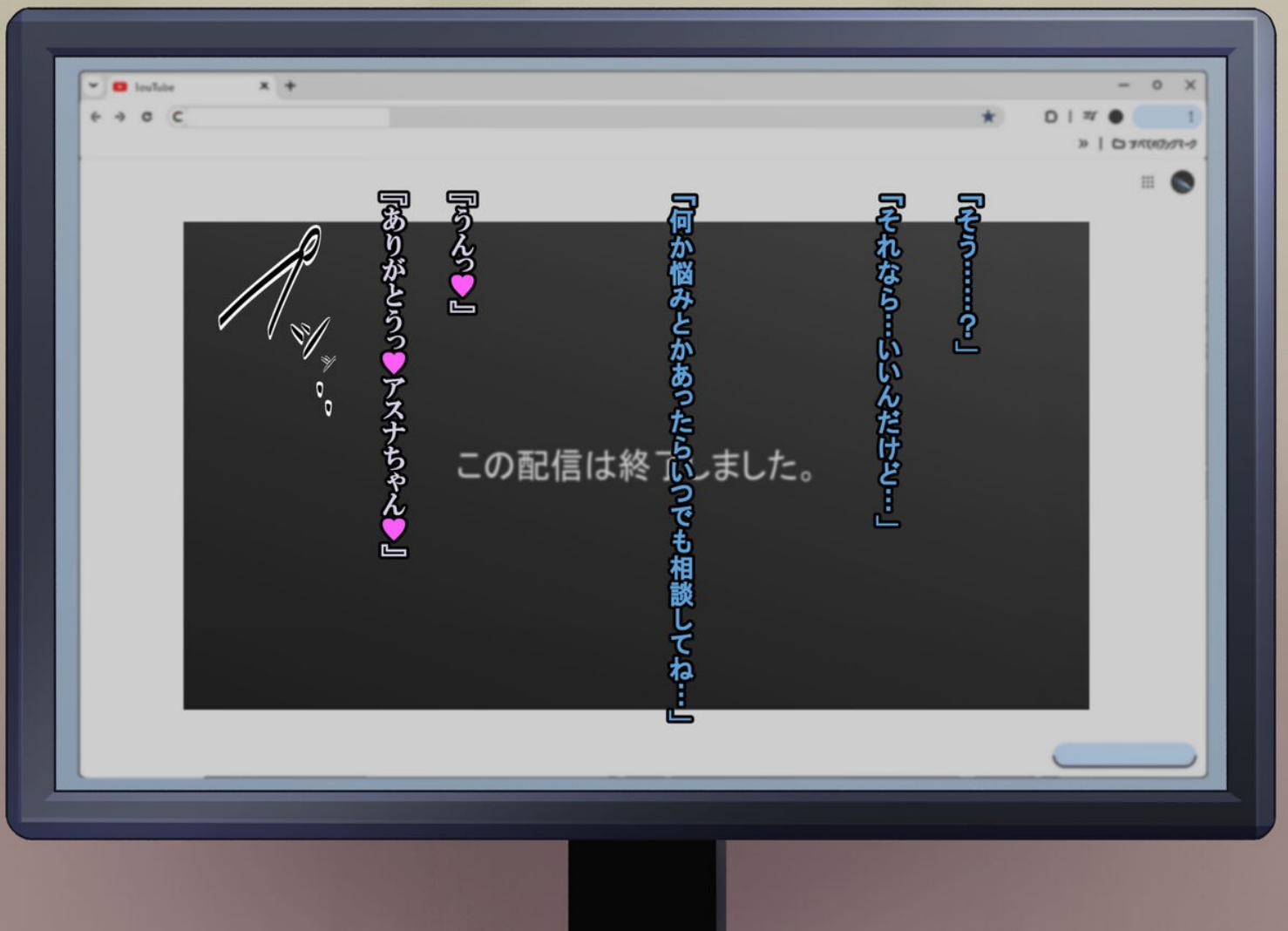
「…おあつ…♡おあつ…♡」

「ズとと…サウラちやん…っ」

「ああつ…あつ…」

「元気でやってるよおつ♡」

「むしろすっごい調子良いかもおつ♡」





「はーっ♡はーっ♡」

「アキチがやってくる♡」

「アキチがやってくる♡  
配信がやってくる♡」

「キキキ」



「おっさん♡おっさん♡」

「うっ……—サクラちゃんっ……」

「でもっ……あれはっ……」

「おっさんがおっさんおっさん……」



「きゃん♡」

「ごー♡」

「おしる全然だらなへん♡」

「せんせんだてアタンの淫乱

ズクズクで腰振してもらえて...

どーしても気持ちいいんでしょっ♡」

「ああッ.....サクラちゃんッ.....

きみはッ.....いらたろっ.....うアッ.....」





「おのヌーツと相應してヌヌヌッ♡」



はーはー

(ムムム...)



(その姿を想像したただけで...)

「なまじい」

(あのスーツをまだ見て纏うドクドクマン...)

イル イル イル イル イル

イル イル イル イル

イル

イル



「おっおっおっ」  
「♡」

「おっおっおっ」  
「♡」

ガクガク  
ガクガク

ガクガク  
ガクガク

おん  
おん  
おん  
おん



「おっぱいお尻お尻」

「おっぱいお尻」

「おっぱいお尻お尻お尻」

「おっぱいお尻」





「やばい……なんかやばいよツツ……」

「なっ……なんなんだこの子……」

「ゴホ」





「はーっ♡」

「はーっ♡」

はー はー



「はぁ♡きたぁ」  
またのねえ♡

フフツ♡

「はぁ♡」

フフツ♡

はー

フ # フ

フ # フ



「完全なアナルチューブ...♡」

「これでまた...♡」

あゝ あゝ あゝ



「あはああん♡♡」

「きもちいい♡♡」

アハハ



「聞こえるわアナタの声え♡♡」

ふわっ♡

ふわっ♡

ぽ

ふわっ♡

「あぁ♡聞こえる♡」

いっしょ



ア  
メ

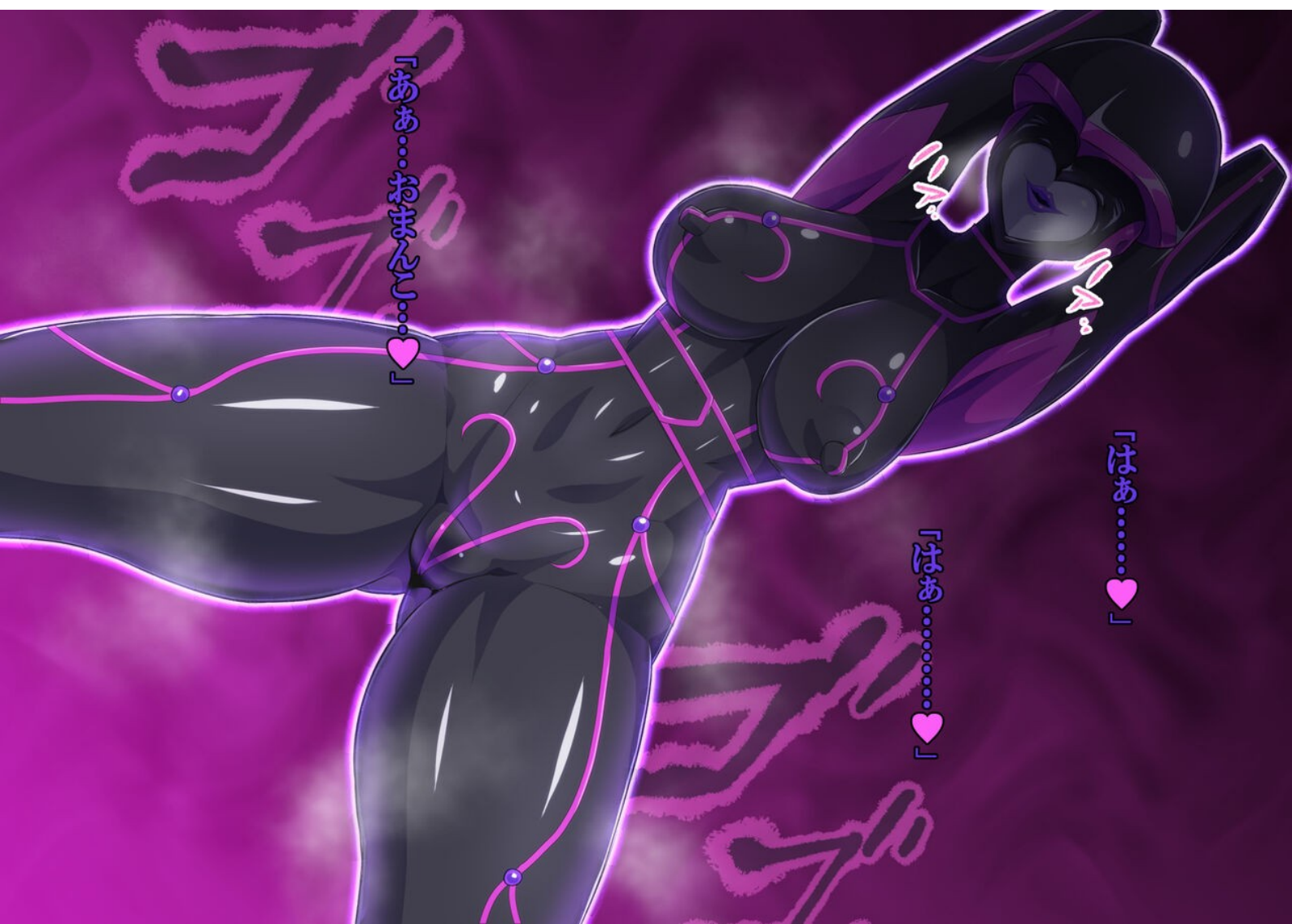
ア  
メ

「あまんっ♡イクわあっ♡♡♡」  
「アナタの元へえっ♡♡♡」



カ  
ア

イクイクイクイク  
イクイクイク  
イクイクイク  
イクイクイク



「ほほ……♡」

「ほほ……♡」

「ほほ……ほほ……♡」



「ほや〜おまんこしたいのお♡♡」



「全てのオスチンポは  
このアタシのものよ...♡♡」

「フッフツ♡」

「最高の気分...♡♡♡」

ホホ

ホホ

じゅわん

ホホ

ホホ

んんん



「はぁんっ♡」

「あはぁんっ♡」

「みんなあみてるかなぁ♡♡」



「はぁっ♡はぁっ♡」

「どうかなぁ♡」

「ど淫乱なアタシの生ハメ撮りセックスうっ♡」

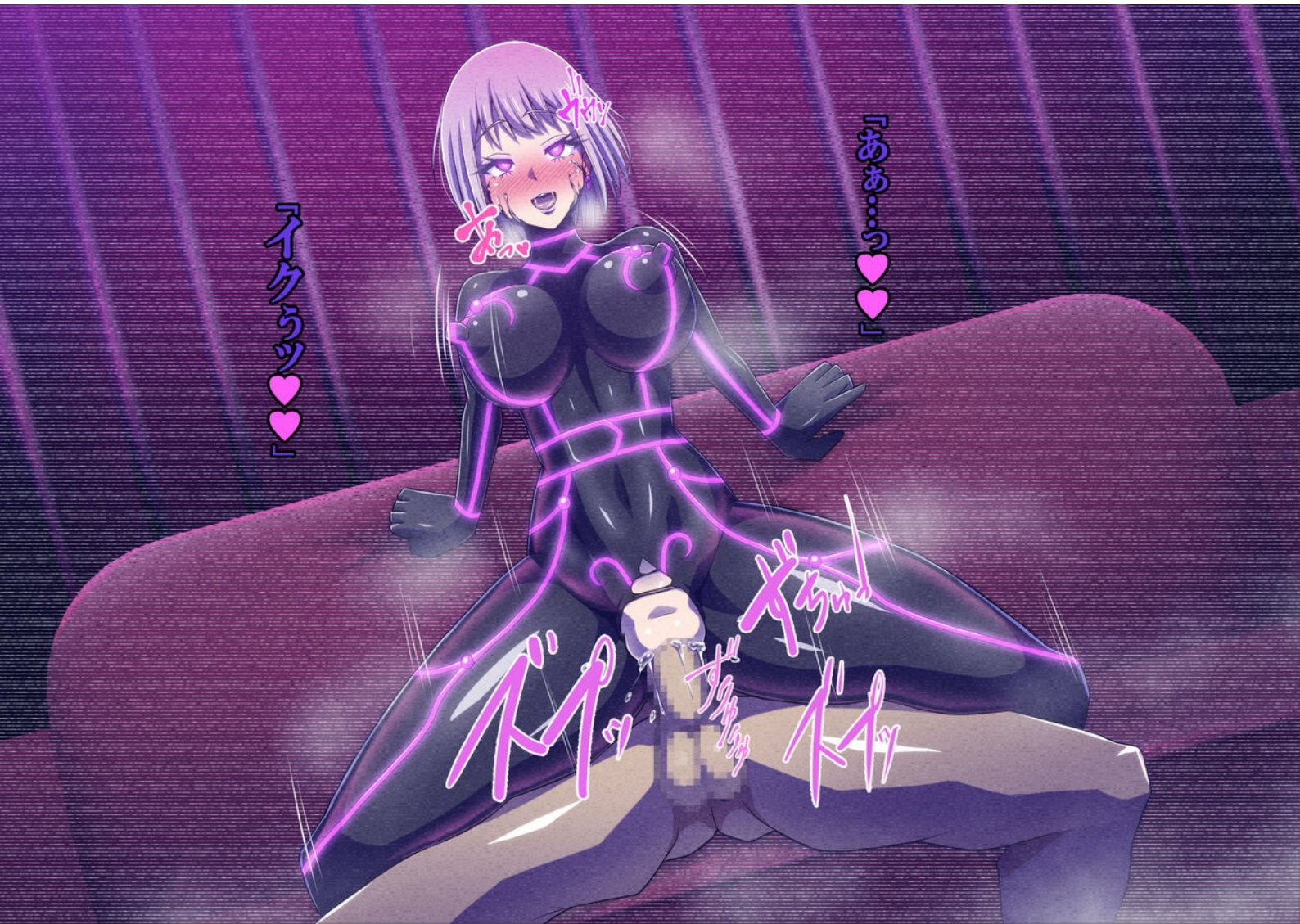


「サクレンドもホドもなごっ♡♡♡」

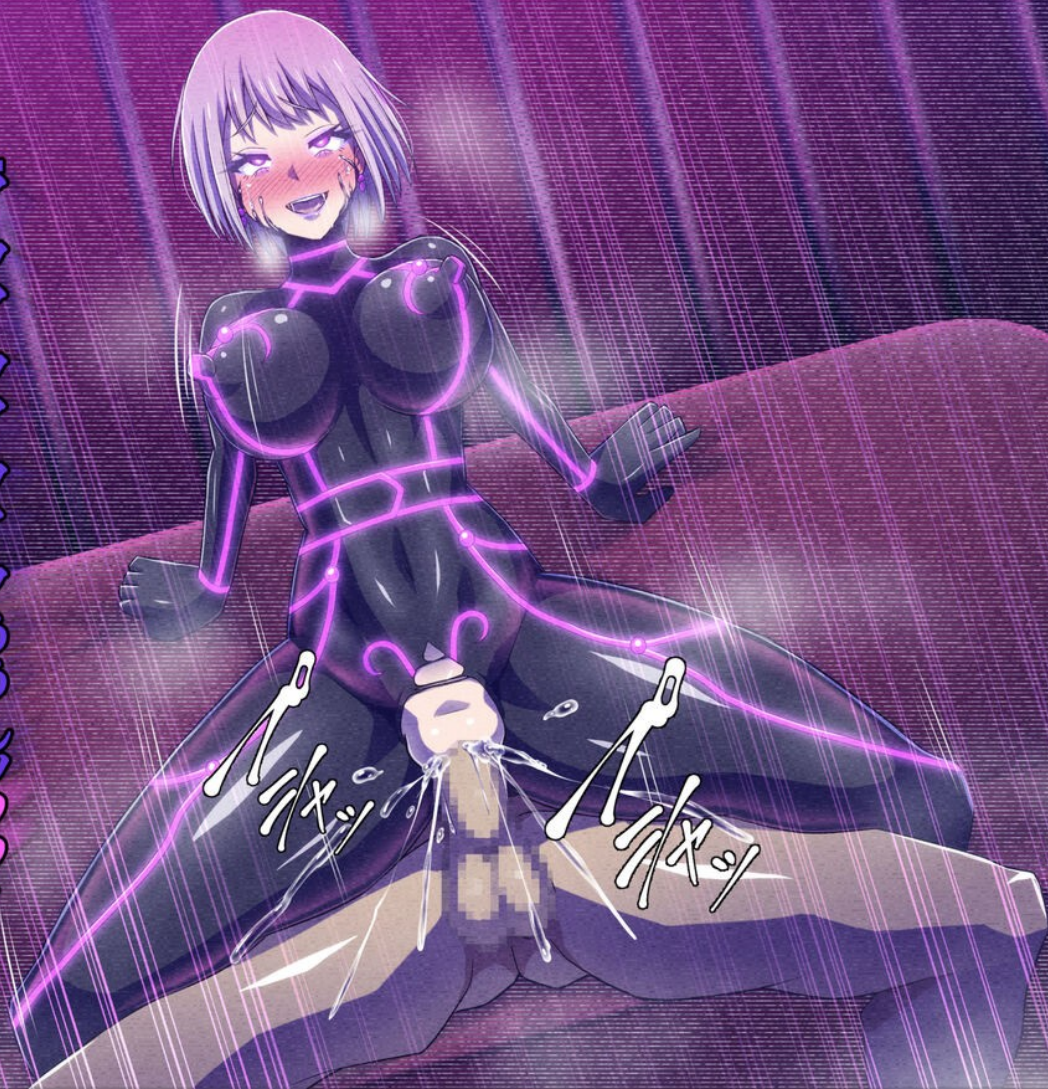
「このアタシのヌメ撮りセックススっ♡♡♡」

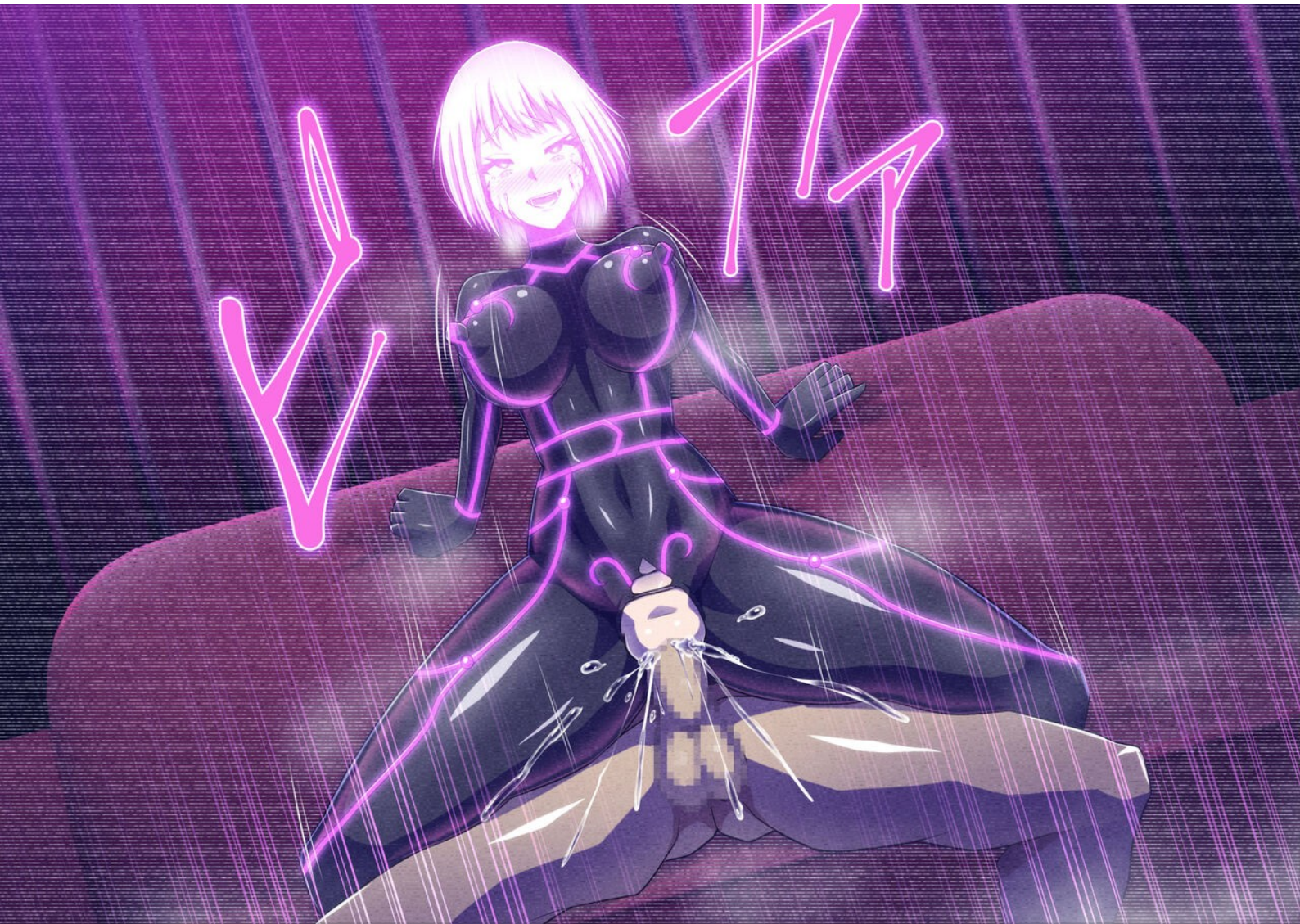
「ドおへみてえっ♡♡♡」

「デカチンでイキまくるといっばいみてみんなあ♡♡♡」



「イクイクイクイクうんツ♡♡」







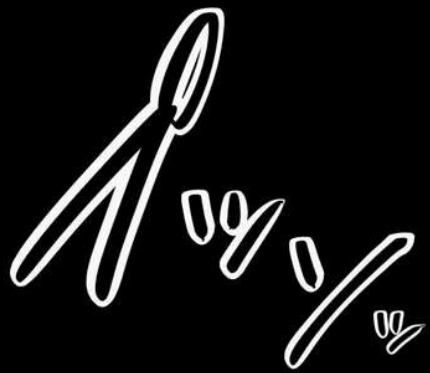


「オスチンポたまらないわあ...♡」

「あぁ...たまらない...♡」

このアカウントは削除されました。

ザ





—THE END—